

主な就職先

公立図書館	鳥取県立図書館／鳥取市立図書館／倉吉市立図書館／米子市立図書館／境港市民図書館／岩美町立図書館／八頭町立図書館／わかさ生涯学習情報館／ちえの森ちづ図書館／湯梨浜町立図書館／琴浦町立図書館／北栄町立図書館／町立みささ図書館／大山町立図書館／日野町図書館／日南町図書館／江府町立図書館／南部町立図書館／伯耆町立図書館／日吉津村図書館
学校図書館	鳥取県立学校(高等学校の図書館など)／市町村立学校(小学校・中学校の図書館 など) 特別支援学校の図書館 など
大学図書館	鳥取大学附属図書館・医学図書館／鳥取環境大学情報メディアセンター／鳥取看護大学・鳥取短期大学附属図書館
その他	公文書館／病院図書室／研究機関の専門資料室 など



司書資格をとってよかったこと

- ★社会に対しての総合的な考え方を学ぶことができました。その部分は、今でも仕事や生活していく中で大切なことであると感じます。
- ★現在の職場においても、本を分類し整理管理することができます。
- ★他の学科の人たちと交流ができ、本が好きな人にたくさん出会えました。
- ★図書館の利用の仕方などを学ぶことができ、知識が深まったことで、図書館を訪れる機会が増えました。現在の仕事に関する本などを調べたり借りたりするため、よく利用しています。

卒業生の声

司書になって



- ★図書館の職員になることができました。図書館で働きたいという夢を捨てずによかったです。職につくのが難しいと分かっていても、資格をひとつずつとってよかったです。資格が宝物になりました。資格の勉強も、とても楽しかったのを今でも覚えています。(公立図書館勤務)
- ★生徒や教員から自分の仕事に対して良い反応がもらえると、やってよかったと思います。多様なあり方が認められる学校図書館や司書という仕事だからこそ、自分の理想とする形でとことん追求できる部分にとってもやりがいを感じます。だからこそ中途半端な形で満足せず、引き続き丁寧に仕事に取り組んでいきたいと思っています。(学校図書館勤務)

社会人も学ぶことができます! 科目等履修生

鳥取短期大学では、基礎教養・専門分野の学びはもちろん、興味・関心のある分野についても学ぶことができます。生涯学習や学び直しの目的だけでなく、働きながらでもキャリアアップ・キャリアチェンジ、資格取得への挑戦が可能になります。例年、働きながら司書の資格取得をめざす人がいます。詳しくは、『公開授業ハンドブック』をご覧ください。

お問い合わせ



鳥取短期大学
TOTTORI COLLEGE

鳥取短期大学 入試広報課
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
☎0858-26-9171

司書になるにはガイド



はやりがいのある仕事!

司書は、本の貸出返却をするだけが仕事ではありません。司書に求められる役割は多様で、活躍の場が広がっています。また、司書に必要な知識や技能は他の仕事でも活かせることが多く、情報収集や活用方法は大学の学びにも重要です。

例えば、
こんな仕事があります。

- ☐ 利用者は何が知りたいのか、読みたいのかという要求をよく聞き、情報・資料提供する
- ☐ 絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアター、エプロンシアターなどを行う
- ☐ 読書会や講演会などを企画運営する
- ☐ 情報検索や図書館の利用方法についてガイダンスを行う
- ☐ 資料のデジタル化などデジタルアーカイブやデータベースを作成、運用する
- ☐ 読書が困難な人への読書環境を整え、サポートする



鳥取短期大学で司書の資格をとるには



Q. そもそも司書の資格をとるには？

A. 司書資格をとるには、資格に必要な科目を履修し、大学や短期大学の卒業要件を満たすことが必要です。3つの方法があります。

- ① 大学や短期大学の専門教育や司書課程の授業を受ける
⇒鳥取短期大学はこれ!
国際文化交流学科と生活学科で取得可能!
- ② 司書講習を受ける(夏休みなどに行われる集中講習を受ける)
- ③ 通信教育を受ける

Q. 司書資格に必要な科目と単位数は？

A. 「図書館法施行規則」で決められており、必修科目11科目22単位、選択科目2科目2単位以上、13科目24単位以上を取得する必要があります。鳥取短期大学では、右のカリキュラムで学ぶことができます。

●鳥取短期大学【司書科目】カリキュラム(令和4年度入学生用)

		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
必修科目	基礎科目	●図書館概論 月5 ●生涯学習概論 集中	★図書館情報技術論 集中	●図書館制度・経営論 月5	
	図書館サービスに関する科目		●図書館サービス概論 月5 ●情報サービス論 金5 ●情報サービス演習 集中		●児童サービス論 月5
	図書館情報資料に関する科目	★図書館情報資源概論 金5		★情報資源組織論 金5	★情報資源組織演習 集中
選択科目		●図書館基礎特論 集中	●図書館サービス特論 集中	●図書館実習	

月5 月曜5限(16:30～18:00)

金5 金曜5限(16:30～18:00)

集中 長期休業期間等に集中講義の形式で実施

学校図書館について学ぶには

国際文化交流学科だけ

学校司書は、学校図書館の管理・運営に携わり、教職員の一人として児童生徒の教育に関わって、学校図書館の利用を進める専門的な役割を担います。

そのための専門的な知識・技能を身につけるため、国際文化交流学科では平成28年11月29日付文部科学省通知「学校司書のモデルカリキュラムについて(通知)」に基づき、学校司書科目を開講しています。司書科目の★印の科目に加えて、右のカリキュラムに示す科目すべての単位を修得し、卒業要件を満たすことが必要です。

●学校司書のカリキュラム(令和4年度入学生用)

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
学校図書館の運営・管理・サービスに関する科目			●学校図書館概論 ●学校図書館サービス論	●学校図書館情報サービス論
児童生徒に対する教育支援に関する科目	●読書と豊かな人間性	●学校教育概論		●学習指導と学校図書館

図書館で働くには

公立図書館の場合

公立図書館で働くには、その図書館を管理運営する自治体の採用試験を受ける必要があります。鳥取県では、県や市町村の公務員試験を受けることになります。募集する職種に「司書」がある場合とない場合があり、「司書」の募集がある場合でも例年競争率が10倍から20倍で狭き門です。市町村では「司書」の募集が少なく、一般(行政)職員の試験を受けることになり、採用後は必ずしも司書として働けるとは限りません。最近では、任期付きの「会計年度任用職員」の募集が多くなっています。ほとんどが1年の任期で、年末年始に募集があります。任期付きで働きながら、公務員試験をめざす人もいます。公立図書館で働くには、しっかりとした準備と覚悟が必要です。



学校図書館の場合



県立学校を除き、任期付きの会計年度任用職員の募集が多くなっています。県立学校の司書になるには、県の公務員試験を受ける必要があります。市町村の小中学校の学校図書館で働くには、自治体や年度によって異なりますが、公務員試験を受けるか、会計年度任用職員の採用試験を受けることになります。やりがいのある仕事ですが、任期付きの採用が多いため、自分の将来設計をよく考えて受験する必要があります。

大学図書館の場合



鳥取大学(国立大学)、公立鳥取環境大学(公立大学)、鳥取看護大学・鳥取短期大学(私立大学)によって採用方法は異なります。国立大学の場合、事務系の職員統一採用試験を受ける必要があります。大学図書館では、より専門的な知識が求められるので、司書としての専門性が重要になります。最近では、図書館のオリエンテーションや資料検索の講習会などを司書が企画・実施することも求められ、やりがいがあります。

